

支出項目

政務活動費

研修・会議費

No.1

6 月	年度 日	内容	支出額 (円)	累計額 (円)
6	1	WELLNESS CAMP 2024 in 熱海	14,380	14,380
7	10・ 11	全国地方議会サミット2024	11,000	25,380
8	5・6	第53回 議員の学校	25,000	50,380
11	14	トップランナーに学ぶ受賞事例研修会	11,340	61,720
12	8	こども・若者参画を推進するコラボレーション	3,000	64,720
1	27・ 28	地方議員研修会主催 研修会	413,440	478,160
2	7・8	湘南勉強会in茅ヶ崎「海、環境、そしてデジタル行政： 地方自治の新たな可能性と市民力	6,000	484,160
		研修・会議費合計	484,160	

政務活動報告書

令和6年7月3日

茅ヶ崎市議会議長

岸 正明 様

(会派名) 市民の声ちがさき

(氏 名) 山口 順平

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和6年6月1日(土)
目 的 地 (研 修 地)	WELLNESS CAMP 2024 MINAMI ATAMI ～ウェルネスで繋がる大人の友達づくり～ 小山臨海公園(熱海市下多賀541-12)
政務活動の結果 別紙のとおり	



研修受講報告書

市民の声ちがさき

山口 順平

- ・研修（セミナー）名称：WELLNESS CAMP2024 in 南熱海
- ・開催日時：2024年6月1日 11:00～18:00
- ・場所：小山臨海公園

・研修（セミナー）内容：

14:00 オープニング

14:15 「究極のウェルネスとは」 AGRIST 齋藤氏（宮崎） × 小島

15:05 休憩

15:15 ウェルネスマッチング①（名刺なしのマッチング）

15:45 「NEW BLUEZONES」琉球ウェルネス道廣氏（沖縄） × 小島

16:35 休憩

16:45 ウェルネスマッチング②（名刺なしのマッチング）

17:15 「Uターンから生まれるビジネスとウェルネス」 machimori 市来氏（熱海） × LIFE BASE

・所感等

ウェルネスという共通キーワードをもとに各登壇者が実施していることや大切にしていることについて語られた。

特に印象的だったことを所感としてまとめる。

・ウェルビーイングは自分で幸せの軸を決めた状態であり、ウェルネスはそれに向かって行動する過程

・ドーパミンとセロトニンのバランスがとれているのが究極のウェルネス

・長寿の秘訣は明日が楽しみなこと。深いところで繋がっていて孤独じゃないと感じる

・沖縄にはもあいという目的のない飲み会があり、顔を合わせることが目的。助け合って生きていくしかなかった歴史的背景があるが、今は長寿の秘訣にもなっている。

・温泉があることがウェルネスそのもの。悩んでも温泉でまいったかといって流せること。

上記のような登壇内容と途中に参加者同士で交流する時間があり、感じたことをシェアする時間があった。

国全体の全体最適により進められてきたことによりつながりの希薄さが指摘される昨今において、地域における個別最適で幸福度を高める動きが出てきているのだと思う。

地域をよりよくするためにどんなウェルネス活動ができるか茅ヶ崎の中に持ち帰り、アクションにつなげられたらと思う。

ウェルネスで繋がる
大人の友達づくり

WELLNESS CAMP 2024

2024.6.1 SAT

6月 WELLNESS CAMP 2024 in 南熱海

1

(土) 11:00 | 熱海市下多賀 5 4 1 - 1 2 | By ウェルネスエイト



お気に入り



共有

ライフデザイン/生き方

ウェルビーイング

マインドフルネス

ワークライフバランス

生き方

暮らし

📅 日時

2024/06/01 (土)
11:00 - 18:00 JST
カレンダーに追加



チケット

WELLNESS CAMP参加チケット
¥10,000

WELLNESS CAMP+ビフォアパーティー参加チケ
ット
¥15,000

📍 場所

小山臨海公園 (<http://oyama-park.com/>)

熱海市下多賀 5 4 1 - 1 2 日本

[地図を見る](#)

Wellness (ウェルネス) とは、心身ともに豊かな生き方を表す言葉。

では、心身ともに豊かな生き方とは何か？

それは「明日が楽しみであること」

元気のように動ける健やかな身体。

喜びがふたつにふたつと増えるあつたのあつたの心締め切られ

で、人との繋がりを感じられること。

チケットを申し込む

身体と心であなたです。

ただ、それだけでウェルネスを感じられるように我々人は存在していません。
最も重要と言っても過言ではないのが、人との繋がりを感じられること。

ただ、最も見落とされがちなことも、仕事上での付き合いのような利害を超えた人と人との
繋がりの重要性です。

このGAPは大人になる程、無くした方が良く、そう思い開催したWELLNESS CAMP 2023
in 江ノ島のその空間では、参加された皆さんが、自分1人の話に閉ざさず、利害関係を超え
た、人との繋がりを感じ、実際にご縁を作っていたのが印象的でした。



■前回のWELLNESS CAMP 2023 in 熱海

WELLNESS CAMP in 江ノ島



「ウェルネスで繋がる、大人の友達づくり」

主催の小島も、20代ではなかなか気づくことができなかったですが、利害関係を超えた存在の重要性が、本当の意味で腹落ちしてからは、仕事はもちろん、人生で起こること全てのシーンがめっちゃくちゃ楽しくなりました。

大人の友達づくりとは、名刺交換から始まるような退屈なものではない。

今回のWELLNESS CAMP in 南熱海では、「熱海の奇跡」の著者であり熱海でビジネスとウェルネスの循環を体現している市来氏をはじめとする、ウェルネスセッションと参加型のウェルネスワークを実施するイベントを通じて、「A day of opportunities to find your wellness」のコンセプトにあるように、1人1人が自身のウェルネスについて考え、行動が変わる、そしてその先で新たな繋がりが生まれるイベントを企画しました。

【イベント概要】

◆日時：

2024年6月1日 11:00～18:30 ※

(※ 11時～の干物など網代の食が楽しめるビフォアパーティー付プランか、14時～のセッション参加のみかをお選びください)

◆メイン会場：

小山臨海公園（静岡県熱海市下多賀541-12）※JR伊東線「網代」駅より徒歩10分

◆タイムスケジュール：

☆WELLNESS SESSION

14:00 オープニング

14:15 「Want toに生きる」AGRIST齋藤氏（宮崎） × 小島

15:05 休憩

15:15 ウェルネスマッチング①（名刺なしのマッチング）

15:45 「NEW BLUEZONES」琉球ウェルネス道廣氏（沖縄） × 小島

16:35 休憩

16:45 ウェルネスマッチング②（名刺なしのマッチング）

17:15 「Uターンから生まれるビジネスとウェルネス」machimori市来氏（熱海） × LIFE BASE

18:05 クロージング

18:30 終了

◆チケット種別：

① ☆14:00～ WELLNESS SESSION : 10,000円

② 🍷11:00～ ビフォアパーティー + ☆14:00～WELLNESS CAMP : 15,000円

◆ ビフォアパーティー詳細：

海が一望でキス！網代漁港堤の広場にて 南熱海の海の幸を涼しおビフォアパーティーを開催

出張旅費計算書

適 用	WELLNESS CAMP 2024 MINAMI ATAMI～ウェルネス で繋がる大人の友達づくり ～ 神奈川県熱海市下多賀 541－12			会 派	市民の声ちがさき		
期 間	令和6年6月1日 1日			出張者 氏 名	山口 順平		
経 路		日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額 (円)
茅ヶ崎 — 熱海 JR東海道本線		1	—	54.7	990	—	990
熱海 — 網代 JR伊東線						—	
網代 — 熱海 JR伊東線				54.7	990	—	990
熱海 — 茅ヶ崎 JR東海道本線						—	
計		1	—	109.4	1,980	0	1,980
	日 数			単 価(円)		金 額(円)	
日 当	1			2,400		2,400	
研修参加費	1			10,000		10,000	
合 計	¥14,380 × 1 人					¥14,380	

領収データ - WELLNESS CAMP 2024 in 南熱海

発行日	2024年5月17日
宛名	市民の声ちがさき山口順平
合計	¥10,000
但し	チケット代金
注文日	2024年5月17日
注文番号	25600686
主催者	ウェルネスエイト (ウェルネスエイト)
イベント名	WELLNESS CAMP 2024 in 南熱海



印刷する

編集モード

政務活動報告書

令和6年7月31日

茅ヶ崎市議会議長

岸 正明 様

(会派名) 市民の声ちがさき

(氏 名) 山口 順平

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和6年7月10日(水)、11日(木)
目 的 地 (研 修 地)	全国地方議会サミット2024 ～非常事態への備え これからの議会～ (オンライン参加)
政務活動の結果 別紙のとおり	



研修受講報告書

市民の声ちがさき

山口 順平

- ・研修（セミナー）名称：

全国地方議会サミット 2024

- ・開催日時：2025 年 7 月 10 日 13:00～17:30、11 日 10:00～16:00

- ・場所：オンライン

- ・研修（セミナー）内容：

非常事態への備えこれからの議会

7/10

基調講演 生活を支える強い地域を議会がつくる 北川正恭氏

能登半島地震被災地の議会からの報告

輪島市議会議員 椿原正洋氏

珠洲市議会 議場 番匠雅典氏

能登町議会 議長 金七祐太郎氏

熊本地震の経験と自治体間支援の現場から 熊本市長 大西一史氏

※一部抜粋

7/11

非常事態への備えと議会の対応・役割 パネルディスカッション

法政大学 総長 廣瀬 克哉氏

※一部抜粋

- ・所感等

当事者・経験者の話から特に印象に残った部分を以下所感としてまとめる。

- ・珠洲市はマグニチュード 7.6 の地震から人命救助連絡が 1/1 から入ってくるが場所までたどり着けない。自治体派遣の依頼で 1/2 夜明けから救助開始、1/5 には物資が整った。

困ったのはトイレの問題。トイレカー、マンホール簡易トイレの活用が重要

6 か月以降の支援が重要になってくる。未長い支援が必要となる。

- ・熊本市は地域防災計画は想定を簡単に上回る事象が発生した。備えを厚くするためには議会からの要求が必要。1 日ごとに欲しいものが変わってくる。水は 1 週間くらいでなんとか確保できるようになるが、備蓄量の食料は 2 週間分くらいは用意をしておかなければならない。

リアルな現場の意見を聞き準備の重要性を身に染みて感じた。茅ヶ崎市では事前復興計画策定も進めているが、きちんと民意を反映した準備に取り組む必要がある。そのためにも議会全体でしっかり議論をしていく必要性を改めて感じた。

全国地方議会 サミット2024

07.10・11 早稲田大学 井深大記念ホール

非常事態への備え これからの議会

能登半島地震で被害に遭われた皆様へ心よりお見舞い申し上げます。被災地域の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

2024年元日に発生した能登半島地震は甚大な被害をもたらし、今なお復興の途程にあり、

災害対応や支援のあり方、最新技術やデジタル、各地の経験などを活かしているのか、

地域や住民の生活を守るために、私たちが学ぶべき現場の真実・経験知について、現場で対応にあたる議員や関係者、市民と語りあひ、

非常事態や様々な課題への対応、強い地域をつくる「これからの議会」を模索・共有します。

7/10 WED Day1
13:00-17:30

防災・防災生活を支える強い地域を議会がつくる

早稲田大学マニフェスト研究所 顧問 北川 正恭 氏

能登半島地震被災地の議会からの報告

輪島市議会議員・元議長 椿原 正洋 氏

珠洲市議会 議長 番匠 雅典 氏

能登町議会 議長 金七 祐太郎 氏

能登半島の経験と自治体間支援の現場から

熊本市長 大西 一史 氏

能登半島地震と珠洲市の状況と対応

珠洲市長 泉谷 満寿裕 氏

大西 一史 氏 × 泉谷 満寿裕 氏

防災DXの最新情報と今後の展開

国立防災科学技術研究所 総合防災情報センター長

防災DX 官民共創協議会 理事長

白田 裕一郎 氏

防災DXの最新情報と今後の展開

佐賀県庁・JAXA・総務省地域情報化アドバイザー

宇宙公務員 円城寺 雄介 氏

中日大震災の経験から

元総務大臣 片山 善博 氏

○ 終了後意見交換会

(先着150名様、参加費4,000円、要申込)

7/11 THU Day2
10:00-16:00

非常事態への備えと議会の対応・役割

議員・市民・議員・市民

【パネルディスカッション】

東日本大震災の経験をふまえた災害対応

久松市議会議員 須崎 明彦 氏

大規模復興と議会のあり方

鹿前高田市議会議員・元議長 福田 利雄 氏

住民避難・離散と自治体・議会の活動

双葉町長 伊藤 史朗 氏

デジタル・生成AIを活かす

デジタルハリウッド大学 教授 橋本 大也 氏

議会改革の最新トレンドとヒックス

議会改革の軌跡と展望

マニフェスト選挙から20年、その先に――

大正大学 教授 江藤 俊昭 氏

【パネルディスカッション】

議選監査委員の活性化と議会・監査委員事務局の連携

あきる野市議会議員・議選監査委員・元議長 子龍 敏人 氏

可児市議会議員・議選監査委員・元議長 川上 文浩 氏

可児市監査委員事務局 平田 祐二 氏

委員会代表質問を活かす

法政大学 教授 土山 希美枝 氏

甲賀市議会、別海町議会

早稲田大学マニフェスト研究所「議会改革度調査」から

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健氏

全国地方議会サミット2024

検索

* プログラムは現時点の予定であり、変更になる可能性があります。 <https://maniken.jp/summit/>

日時	Day1	2024年7月10日(水)13:00-17:30
	Day2	7月11日(木)10:00-16:00
会場	早稲田大学井深大記念ホール ※会場の都合により大隈記念講堂から変更になりました オンライン配信あり(Zoomミーティング)	
対象	議員、議会事務局・自治体職員、市民等	
定員	会場 先着400名様 オンライン 定員無し	

参加費	議員	11,000円
	一般	5,500円 ※いずれも税込、2日間を通しての金額です。
申込方法	ウェブもしくは裏面のFAX申込書より 期日:2024年6月30日(日)	
主催者	主催	ローカル・マニフェスト推進連盟 共催 マニフェスト大賞実行委員会
	協力	早稲田大学マニフェスト研究所
	後援	全国市議会議長会 全国町村議会議長会
問合せ先	電話	03-6709-6739 メール mani@maniken.jp
	ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 担当:亀井・山内	

主催

ローカル・マニフェスト推進連盟

共催



Manifesto Awards

協力

早稲田大学
マニフェスト研究所



全国市議会議長会
National Association of Chairpersons of City Councils

後援



全国町村議会議長会
National Association of Chairpersons of Town and Village Councils

領収データ - 全国地方議会サミット2024

発行日	2024年6月12日
宛名	市民の声ちがさき山口順平
合計	¥11,000
但し	チケット代金
注文日	2024年6月12日
注文番号	25949351
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	全国地方議会サミット2024



印刷する

編集モード

政務活動報告書

令和6年8月30日

茅ヶ崎市議会議長

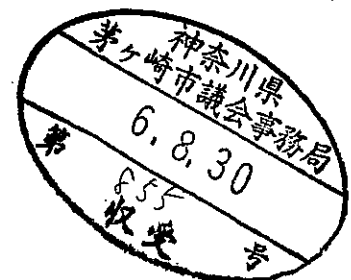
岸 正明 様

(会派名) 市民の声ちがさき

(氏 名) 山口 順平

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和6年8月5日(月)、6日(火)
目 的 地 (研 修 地)	第53回 議員の学校(オンライン参加)
政務活動の結果 別紙のとおり	



研修受講報告書

市民の声がさき

山口 順平

- ・研修（セミナー）名称：

第 53 回議員の学校

- ・開催日時：2024 年 8 月 5 日・6 日 13:00～18:00、10:00～16:30

- ・場所：オンライン

- ・研修（セミナー）内容：

ゲスト講義 自治体民営化の動向 尾林芳匡氏

わが国の自治体民営化

自治体民営化のあらまし

PFI (Private Finance Initiative)

民間の資金やノウハウにより公共施設の建設と調達を行う

問題点

事例

公施設の指定管理制度

地方独立行政法人

自治体と別の法人 設置・人事・財政に自治体関与

その他事例

- ・所感等

2002 年自治体民営化の法制度が進み、PFI や公の施設の指定管理者を民営化する動きが進んできたが、そこには大きな落とし穴があるということを教わった。

今まで公で取り組み人的経費・物的経費の合計費用を民営化することで、合計費用を減らしたうえで民営化をする。企業は営利を目的としているので合計費用から利益を生み出す必要があるため、残った人的経費、物的経費は当然安くせざるを得なくなる。そうすると職員は非正規や派遣等で人件費を抑制し、物的経費も安価な素材を活用することで抑制をすることになる。そうしたしわ寄せによる問題事例が共有された。

民間へ委託することが行政の仕事になってしまっていないか、行政の力量低下につながっていないか。すべてを丸投げするのではなく、行政の役割をきちんと持ったうえで委託先へ発注し、行政がマネジメントできる委託関係を築くことが重要であると感じた。

*50
tamaken

Change!

その先に地方政府への道

多摩研

第53回

HYBRID

議員の学校

●主催 NPO法人多摩住民自治研究所
ハイブリッド[オンライン+会場(最大定員100名)]
「見逃し配信あり」(2024年10月末まで)

●会場: 都立多摩図書館セミナールーム
(JR中央線・武蔵野線 西国分寺駅より徒歩7分)

2024

8/5(月)

/6(火)

申込締切

7/29(月)

■ゲスト講義 講師: 尾林芳匡氏 弁護士

「自治体民営化の動向」

PFI、公の施設の指定管理者など、自治体民営化の制度の運用とその問題点と、各地の住民運動で歯止めをかけたり再び公営化したりする動きを追います。時間の許す限り、世界各国でも民営化のひずみを受けて再公営化の動きがあることも明らかにします。

■集中講義 講師: 森 裕之氏 立命館大学教授

「公共施設再編と自治体財政」

公共施設再編は自治体政策の最大の課題です。公共施設をめぐる状況、公共施設の整備・運営の財政制度、先行自治体における様々な事例、決算データからみる公共施設の状況など、公共施設再編に関する諸問題を多様な視点から学びます。

■シリーズ講義(3) 講師: 石川 満氏 元日本福祉大学教授・多摩住民自治研究所理事

「市町村の高齢者政策はどうあるべきか」

認知症や孤独死、貧困化など高齢者をとりまく問題が大きくなる一方、社会保障給付費の抑制がすすめられています。市町村はどのように高齢者の「権利」を守り、「地域」づくりをすべきかを考えます。

■実践報告「公共施設再編の最前線から」

報告: 小林伸行氏 神奈川県真鶴町長・荒井容子氏 多摩市の社会教育を考える会・法政大学教授

公共施設の複合化・
民営化を考える



第53回議員の学校お申込み



ご期待ください!



「議員の学校」とは 多摩住民自治研究所[多摩研]の「議員の学校」は、「住民と地域に役立つ地方議員になりたい」という議員の皆さんの声にこたえ、「政党派を問わずに、だれもが参加できる学校」として始められました。平成21(2009)年のことです。幸いにして、各地の議員の皆さんの積極的なご参加と、協賛された各分野の講師の方々のすぐれた講話によって、かけがえのない歩みを重ねてまいりました。

NPO法人
多摩住民自治研究所
tel: 042-586-7651

〒191-0016 東京都日野市神明3-10-5 エスプリ日野103 HP●<https://tamajichiken.wixsite.com/info>

講師プロフィール 議員の学校

■ ゲスト講義 尾林芳匡 (おばやし よしまさ / 弁護士)



1961年、東京都生まれ。東京大学法学部卒業、90年、弁護士(東京弁護士会所属)。現在、八王子合同法律事務所。

■著書 『自治体民営化のゆくえ——公共サービスの変質と再生』(自治体研究社 2020)、共著に『TPP・FTAと公共政策の変質』(自治体研究社 2017)、『行政サービスのインソーシング——「産業化」の日本と「社会正義」のイギリス』(自治体研究社 2021)、『学校統廃合と公共施設の複合化・民営化 PPP/PFIの実情』(自治体研究社 2024)、『公園の木はなぜ切られるのか——都市公園とPPP/PFI』(自治体研究社 2024) ほか多数。

■ 集中講義 森 裕之 (もり ひろゆき / 立命館大学教授)



1967年生まれ。地方財政、公共政策の理論活動の第一線に立つ研究者で、「市町村や都道府県の財政が住民生活や企業活動にどのような影響を及ぼすか」を実際に検証し、注目をあびてきました。著書や論文、幅広い講演活動によって、地方財政改革、公共事業、公共政策について積極的な発言をしています。

■著書 『自治体財政を診断する——「財政状況資料集」の使い方』(自治体研究社 2022)、『市民と議員のための自治体財政——これでわかる基本と勘所』(自治体研究社 2020)、『初歩から分かる総合区・特別区・合区』(共著 自治体研究社 2017)、『公共施設の再編を問う』(自治体研究社 2016)、『大都市自治を問う』(共著 学芸出版社 2015)、『、域共創と政策科学』(共著 見洋書房 2011)、『検証・地域主権改革と地方財政』(共著 自治体研究社 2011) ほか多数。

■ 社会保障政策シリーズ講義(3) 石川 満 (いしかわ みつる)



1951年東京都生まれ、東大和市職員(通算21年間福祉事務所に勤務)を経て、1999年日本福祉大学社会福祉学部助教授、2004年教授。福祉行財政論など、2017年定年退職。多摩住民自治研究所理事、社会福祉法人えいぶる理事長など。

■著書 『いのちを選ばないで』(共編著 大月書店 2019)、『生きたかった——相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの』(共編著 大月書店 2016) ほか。

■ 実践報告【公共施設再編の最前線から】

小林伸行 (こばやし のぶゆき 写真左)

神奈川県真鶴町長

荒井容子 (あらい ようこ 写真右)

多摩市の社会教育を考える会・法政大学教授



プログラム & 料金

【会場・オンライン同一価格】

●部分参加(1講義あたり)

- ・都道府県・政令市・特別区議会議員 13,000円
- ・上記以外 9,000円

●全参加(3講義+実践報告)

- ・都道府県・政令市・特別区議会議員 37,000円
- ・市議会議員 25,000円
- ・町村議会議員 15,000円
- ・多摩住民自治研究所会員(議員) 22,000円
- *市民 1講座:1,000円 全参加:3,000円

◆第1日 8月5日(月)

- 12:50~13:00 開会のあいさつ、ガイダンス
- 13:00~15:00 ゲスト講義(講義100分、質疑応答20分)
- 15:00~15:10 休憩(10分)
- 15:10~16:55 最前線からの実践報告
(報告30分×2+質疑応答・フロアとのやり取り等45分)
- 16:55~17:00 休憩(5分)
- 17:00~17:50 グループワーク(50分)
- 17:50~18:00 ふりかえりと情報&意見交換(10分)
- 18:00 終了予定

◆第2日 8月6日(火)

- 9:55~10:00 ガイダンス
- 10:00~12:00 集中講義(講義100分、質疑応答20分)
- 12:00~13:00 お昼休み(60分)
- 13:00~15:00 社会保障政策シリーズ講義(3)
(講義100分、質疑応答20分)
- 15:00~15:20 休憩(20分)
- 15:20~16:20 全体にわたる質疑応答(60分)
- 16:20~16:30 閉会のあいさつ、連絡事項等(10分)
- 16:30 終了予定

No. 240728-531070

2024年8月6日

山口 順平 様

特定非営利活動法人 多摩住民自治研究所

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
さて、「第53回 議員の学校」参加費領収証をご送付いたしました。
よろしくご査収の程、お願い申し上げます。
下記、破線で切り取り、領収証としてご使用ください。

敬具

No. 240728-531070

発行日 2024年8月6日

領収書

市民の声ちがさき 山口順平 様

¥25,000-

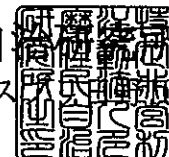
但し、第53回「議員の学校」参加費

2024年7月28日 上記正に領収いたしました

特定非営利活動法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明3-10-5 エス

TEL042-586-7651 FAX042-514-8096



政務活動報告書

令和6年12月23日

茅ヶ崎市議会議長

岸 正明 様

(会派名) 市民の声ちがさき

(氏 名) 山口 順平

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和6年11月14日(木)
目 的 地 (研 修 地)	トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会 株式会社メディアドゥセミナールーム (東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル5F)
政務活動の結果 別紙のとおり	



研修受講報告書

市民の声ちがさき

山口 順平

・研修（セミナー）名称：

トップランナーに学ぶ受賞事例研修会

・開催日時：2024年11月14日 10:30～16:30

・場所：株式会社メディアドゥ セミナールーム

・研修（セミナー）内容：

「日本最大の政策コンテスト」マニフェスト大賞で、今年優秀賞を受賞した全国のトップランナーが、最新の取り組み事例を発表

■ローカル・マニフェスト部門

・命とくらしを守る公約で、市民の「このまちで良かった」を実現（戸田市長 菅原文仁）

・～千葉の未来を切り開く～「まち」「海・緑」「ひと」がきらめく千葉の実現（千葉県知事 熊谷俊人）

・コンパクトシティー化計画と同時並行で進める小中学校の再編と人口減少時代に対する市民理解の推進（諏訪市長 金子ゆかり）

・「知は、現場にあり。」徹底した現場主義によるマニフェストの推進（大府市長 岡村秀人）

・誰にも身近な総合計画『MATSUE DREAMS 2030』（松江市長 上定昭仁）

・無投票回避大作戦！～新人候補者の「発掘・育成・支援」～（北上市議会 北上まほろばクラブ）

・区民の涙から生まれたマニフェスト「一時預かり保育のオンライン予約」政策実現までの10年間（中央区議会議員 高橋まきこ）

・よこはま自民党ローカルマニフェストで市民と約束した『こども条例』の制定（よこはま自民党（自由民主党横浜市支部連合会・自由民主党横浜市議員団））

■シティズンシップ部門

・候補者のマニフェストを活用したリアル型模擬投票の実践 ―教育現場から民主主義の健全化を目指して―（北海道松前高等学校、函館新聞社）

・税金を使ってまちづくり！！～小学生にもわかりやすい予算策定体験型授業の開発～（弘前大学教育学部 政治学研究室）

・2024年東京都知事選挙における参加型マニフェストの取り組み（チーム安野）

・教育政策に学習者の声を反映し教育をより良く変えていく（studentschangingeducation）
行政施策をやいのやいのする～シティズンシップを醸成する学びの機会としてのパブコメの活用～（諏訪 玲子）

- ・市議がマスターになる まちのBAR (まちのBAR 実行委員会)
- ・日本で一番、こどもの意見を聴いて応える、対話する市役所 (千曲市市長 小川修一 with ハンマーバード)
- ・小学生が「権力の監視」を考える ー大学生・学校・選管・大学がコラボした授業設計・実施・検証ー (岐阜県若者の選挙意識を高める会 (Novolt))
- ・パブコメはたのしい！ー対話型パブコメを全国へー (パブリックコメント普及協会)
- ・若者主体の選挙啓発！投票までの案内役『選挙コンシェルジュ』(松山市) ～10 年の歩みとこれから～ (選挙コンシェルジュ)

■議会改革部門

- ・栗山町議会議員のなり手不足問題に挑む～「議員の学校」開校！ (栗山町議会)
- ・議会改革「第3ステージ」への飛躍 「議会基本条例の実践～条文が真に生かされる議会活動～」(北海道芽室町議会)
- ・「奥州市議会 ICT 推進方針」の実践 ～生成AI等の活用による更なる議会改革の推進～ (奥州市議会)
- ・究極の議員間討議を実現！「藤沢型政策検討会議」(藤沢市議会 議会改革推進会議 新旧座長)
- ・さらなる進化を目指して！議会報告会のターゲットを拡大！！ (西脇市議会)
- ・夢を語ろう 未来へつなごう 丹波市議会☆ミライプロジェクト (丹波市議会)
- ・広報の改善からはじまった議会改革への道 ー住民・議員の行動変容ー (王寺町議会)
- ・新たな広報広聴への挑戦 ～デジタルとリアルの融合でつくる～ 「宮崎市議会 DX みやだん」(宮崎市議会)
- ・高校生@議会をブラッシュアップ～「議会見学」から「理事者への一般質問(再質問あり)」に至るまで～ (下川町議会)
- ・「800位からの大逆襲！」議会改革の取り組み (酒田市議会)
- ・やればできた！開かれた議会に挑戦 (御宿町議会)

■政策・まちづくり部門

- ・3歳児健康診査の問診票に「吃音」を明記する自治体は1% 吃音が十分に発見されていない恐れが明らかに (「吃音経験者 参議院議員 杉尾秀哉」及び「超党派議員ネットワーク」(協力：当事者団体))
- ・父母会で始めた学童弁当サービスが、試行5年を経て目黒区公式で導入されました！ (目黒区議会議員 山本ひろこ)
- ・豊島区プロジェクト～政官民で協働した空家活用シングルマザーシェアハウスの実践～ (NPO 法人全国ひとり親居住支援機構、豊島区住宅課、川瀬さなえ (豊島区議))
- ・施工管理アプリの新たな可能性 ～“あったらいいな”の実現に向けて～ (東京都町田市)
- ・全国初 市独自施策による会計年度任用職員 (非正規公務員) の処遇改善 (みよし市長 小山 祐)

- ・ 当たり前を見直し、子育てが楽しい社会を行政とともに創る ～保育施設から使用済みおむつを持ち帰る問題～（保育園からおむつの持ち帰りをなくす会）
- ・ 地域から国を変えた！！子ども達の未来のために～ワクチンの予防接種記録の問題点のカイゼンの成果～（茨木市議会議員 塚 理）
- ・ 計画策定業務の見直し（西宮市議会議員 たかの しん）
- ・ 海ごみゼロを目指して ～海なし議員も含む基礎自治体議員が我が事として挑んだ2年間～（徳島県海岸漂着物対策協議会）
- ・ 社会教育を地方創生のメインストリームに！（南国市議会議員 前田 学浩）
- ・ 「子どもの権利相談室」の相談員による手書きでの、小学校児童との「お手紙交換」、中学校生徒への相談対応（志免町子どもの権利相談室・志免町子どもの権利救済委員）
- ・ 行政に頼らない地域づくり（柳谷自治公民館（やねだん））

・ 所感等

首長、議員・会派、市民・団体、議会など、民主主義を支える改革のトップランナーたちによる最新の取り組みを、沢山知ることができた。

特に印象に残ったことは、

- ・ 議会アンバサダーを市民に任せる
- ・ 高校生が議員に対する質問をまとめ、議員から回答する
- ・ みんなで面白がりながら意見が言える
- ・ 対話型パブコメでサイレントマジョリティの声を集める
- ・ 声なき声に耳を傾ける
- ・ こども条例をつくり、意見表明権を具体化する

自分の議員活動ではなく、議会全体を動かせるような役割を担えたらと思った。また、各所での取り組みで住民の「自分事化」に取り組んでいる事例に興味を持ったが、今起きていることにとどまらず、背景となる課題感やWHY（なぜそれをしているのか、なぜそれが必要なのか）が伝わるのが重要であると気づいた。

学び合いの中から善い取り組みを自身でも取り入れ、「善政競争（善い政治の競争）」につなげていければと感じた。

日本最大の政策コンテスト「マニフェスト大賞」受賞者によるプレゼンテーション

今すぐ申し込む

お知らせ

[2024.10.24]

会場参加の受付を終了しました（満員御礼）。オンラインでのご参加はお申し込み受付中です（11月7日正午締切）。

民主主義を支える改革のトップランナーたちによる
取り組みを一挙に学べる充実の6時間

「日本最大の政策コンテスト」マニフェスト大賞で、今年優秀賞を受賞した全国のトップランナーが、最新の
取り組み事例を発表！

首長、議員・会派、市民・団体、協会など、民主主義を支える改革のトップランナーたちによる最新の取り組みを、一挙に学べる機会です。学び合いの中から善い取り組みを自身でも取り入れ、マニフェスト大賞を目指す「善政競争（善い政治の競争）」の輪をともに広げましょう。

皆様のご参加をお待ちしております。



今すぐ申し込む

充実のプレゼンテーション（予定）

ローカル・マニフェスト部門

- ・ 命とくらしを守る公約で、市民の「このまちで良かった」を実現（戸田市長 菅原文仁）
- ・ ～千葉の未来を切り開く～「まち」「海・緑」「ひと」がきらめく千葉の実現（千葉県知事 熊谷 俊人）
- ・ コンパクトシティー化計画と同時並行で進める小中学校の再編と人口減少時代に対する市民理解の推進（諏訪市長 金子 ゆかり）
- ・ 「知は、現場にあり。」徹底した現場主義によるマニフェストの推進（大府市長 岡村 秀人）
- ・ 誰にも身近な総合計画『MATSUE DREAMS 2030』（松江市長 上定 昭仁）
- ・ 無投票回避大作戦！～新人候補者の「発掘・育成・支援」～（北上市議会 北上まほろばクラブ）
- ・ 区民の涙から生まれたマニフェスト「一時預かり保育のオンライン予約」政策実現までの10年間（中央区議会議員 高橋 まきこ）

- ・ よこはま市民党ローカルマニフェストで市民と約束した『こども条例』の制定（よこはま市民党（自由民主党横浜
市支部連合会・自由民主党横浜市会議員団））

シティズンシップ部門

議会改革部門

政策・まちづくり部門

参加者特典

発表者資料をダウンロードできます

アーカイブ動画を後日配信します

事例集（マニフェスト大賞記念冊子）をお渡しします

意見交換会あり



今すぐ申し込む

開催概要

日時

2024年11月14日（木）10時30分～16時30分（途中昼食休憩あり）
終了後意見交換会（希望制）

会場

・会場参加（定員70名様先着順）

株式会社メディアドゥ セミナールーム（MAP）
（〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル 5F）

・オンライン参加（定員無し）

zoomミーティングを使用します

参加費

議員・首長等：6,600円（税込）

上記以外：3,300円（税込）

※ 参加費には、優秀賞受賞の取り組み内容をまとめた「第19回マニフェスト大賞記念冊子＜定価1,500円（税込）、郵送手数料＜500円＞」が含まれています。お申し込みにつき1冊を、会場参加の場合現地お渡し／オンライン参加の場合後日郵送（当日データ配布）します。

※ 事前にお申し込みいただいた方に限り、当日参加できなくても、後日レコーディング動画を閲覧できます。

定員 参加対象者

会場 70名様（先着順）

オンライン 無制限

※例年、会場はすぐに満席になりますので、会場参加を希望の方はお早めにお申し込みください。

意見交換会

希望制（要申込）・5,000円

主催者

主催：マニフェスト大賞実行委員会

共催：ローカル・マニフェスト推進連盟、早稲田大学マニフェスト研究所

事務局

一般社団法人マニフェスト研究会

電話: 03-6709-6739

メール: mani@maniken.jp（件名に「トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会（11月14日）」と記載してください）

出張旅費計算書

適 用	トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会 東京都千代田区一ツ橋1ー1ー1パレスサイドビル5F			会 派	市民の声ちがさき		
期 間	令和6年11月14日 1日			出張者氏 名	山口 順平		
経 路		日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額 (円)
茅ヶ崎 — 新橋 JR東海道本線		1	—	60.8	1,170	—	1,170
新橋 — 日本橋 東京メトロ銀座線						—	
日本橋 — 竹橋 東京メトロ東西線						—	
竹橋 — 日本橋 東京メトロ東西線			—	60.8	1,170	—	1,170
日本橋 — 新橋 東京メトロ銀座線						—	
新橋 — 茅ヶ崎 JR東海道本線						—	
計		1	—	121.6	2,340	0	2,340
	日 数			単 価(円)		金 額(円)	
日 当	1			2,400		2,400	
研修参加費	1			6,600		6,600	
合 計	¥11,340 ×			1 人		¥11,340	

領収データ - トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会(2024年11月14日@会場&オンライン)

発行日	2025年1月5日
宛名	市民の声ちがさき ヤマグチ ジュンペイ
合計	¥6,600
但し	チケット代金
注文日	2024年10月8日
注文番号	27542278
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会(2024年11月14日@会場&オンライン)



政務活動報告書

令和7年1月31日

茅ヶ崎市議会議長

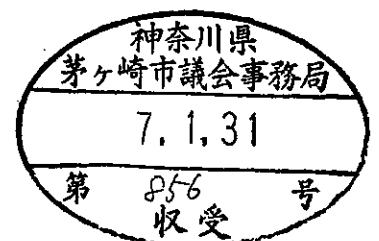
岸 正明 様

(会派名) 市民の声ちがさき

(氏 名) 山口 順平

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和6年12月8日(日)
目 的 地 (研 修 地)	こども・若者参画を推進するコラボレーション (オンライン参加)
政務活動の結果 別紙のとおり	



研修受講報告書

市民の声がさき

山口 順平

- ・研修（セミナー）名称：

子ども・若者参画研究会

- ・開催日時：2024年12月8日14:30～17:00

- ・場所：オンライン

- ・研修（セミナー）内容：

こども・若者参画を推進するコラボレーション

タイムテーブル

13時30分：総会 開始

14時00分：総会 終了

※総会は会員のみ参加可能

14時30分：研究大会 オープニング

14時30分～15時30分：実践報告「実践と研究が結びつくとは？」（研究者×実践者がどう関わっているか）

14時30分～45分：キーノートスピーチ「こども・若者参画を取り巻く現況」 土肥潤也（NPO法人わかもののまち 代表理事）

14時45分～55分：中野区 発表

14時55分～15時05分：東海村 発表

15時10分～15時30分：安部芳絵（工学院大学 教授）・土肥潤也（NPO法人わかもののまち 代表理事）を含め4名でクロストーク

15時40分～15時55分：リレープレゼン 5分×3名

15時55分～16時45分：ワークショップ「実践と研究を結びつける！～実践者と研究者のマッチング～」

16時45分～50分：ふりかえり

17時00分：研究大会 終了

- ・所感等

2024年度は自治体がこども意見反映のスタートラインに立った年であり、各自治体において事例が生まれてきている。半数以上の自治体で意見徴収方法もアンケートやパブコメなど複数の意見徴収実施が進められている。今後の取り組みとして、国レベルのこども若者の意見表明チャネルの設計も必要であり、まち単位で身近な問題を扱うための場も必要。こども会議・議会等の取り組みもあれば、日常生活世界への参加として様々なNPOやこども若者の居場所などでの意見表明機会をどう作っていくか。周辺参加の機会づくりに自治体単体でなく、協働しながら進められるか注目していく必要があると感じた。

わかもののまちにつながる皆様

いつもお世話になっております。
NPO法人わかもののまち事務局です。

当法人が事務局をしております子ども・若者参画研究会の年に一度の研究大会が12月8日に開催予定です。今年のテーマは「こども・若者参画を推進するコラボレーション」で、東京都中野区・茨城県東海村の実践報告から、各自治体にアドバイザーとして関わる安部氏（工学院大学）、土肥（NPO法人わかもののまち）の関わりを紐解いていきます。

お申し込みはこちら
<https://kowakaken2024.peatix.com/view>

こども・若者参画を推進するコラボレーション

自治体施策の推進において、研究者、自治体、そしてNPO等の実践者の協働は重要なテーマです。多様なこども・若者が参画できるまちを目指すためには、研究者のもつ研究知と、NPO等の実践者の現場での経験を効果的に活用していくことが求められます。

しかし、研究者や実践者との協働のあり方について悩む自治体も少なくありません。どのような場面でどのように関わってもらえばよいか、その座組みや連携の方法によって協働の成果が左右されることがあります。

今回の研究大会では、研究者、自治体、そしてNPO等の実践者がどのように協働しているかをテーマとし、既に協働が進んでいる中野区と東海村の事例を通じて、自治体施策の推進における効果的な協働のあり方について考察していきます。

詳細

日 時：2024年12月8日（日）14:30-17:00

会 場：みらい館大明（東京都豊島区池袋3-30-8）

参加費：学生 無料 / 会員 ¥1,000 / 一般 ¥3,000

※アーカイブはリレープレゼンまでの全体会を全会員および一般チケット購入者に配信いたします。

定 員：50名

「子ども・若者参画研究会の会員申し込みはこちらから」

<https://children-youth-studygroup.com/>

タイムテーブル

13時30分：総会 開始

14時00分：総会 終了

※総会は会員のみ参加可能

14時30分：研究大会 オープニング

14時30分-15時30分：実践報告「実践と研究が結びつくとは？」（研究者×実践者 がどう関わっているか）

14時30分-45分：キーノートスピーチ「こども・若者参画を取り巻く現況」 土肥潤也（NPO法人わかもののまち 代表理事）

14時45分-55分：中野区 発表

14時55分-15時05分：東海村 発表

15時10分-15時30分：安部芳絵（工学院大学 教授）・土肥潤也（NPO法人わかもののまち 代表理事）を含め4名でクロストーク

15時30分-15時40分：休憩

15時40分-15時55分：リレープレゼン 5分×3名

※プレゼン希望者を会員から募集いたします

15時55分-16時45分：ワークショップ「実践と研究を結びつける！～実践者と研究者のマッチング～」

16時45分-50分：ふりかえり

16時50分-55分：閉会挨拶・事務連絡

領収データ - こども・若者参画を推進するコラボレーション / 子ども・若者参画研究会 年次大会

発行日	2025年1月5日
宛名	市民の声ちがさき ヤマグチ ジュンペイ
合計	¥3,000
但し	チケット代金
注文日	2024年11月12日
注文番号	28047462
主催者	NPO法人わかもののまち (わかもののまち)
イベント名	こども・若者参画を推進するコラボレーション / 子ども・若者参画研究会 年次大会



政務活動報告書

令和7年2月28日

茅ヶ崎市議会議長

岸 正明 様

(会派名) 市民の声ちがさき

(氏 名) 花田 慎

藤村 優佳理

清野 匡志

山口 順平

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時

令和7年1月27日(月)、28日(火)

目 的 地
(研 修 地)

地方議員研究会主催 研修会

① あなたの街のデータで確認する人口減少と国の施策

② これから地方にできる人口減少対策

③ 国のこども子育て施策をおさえよう

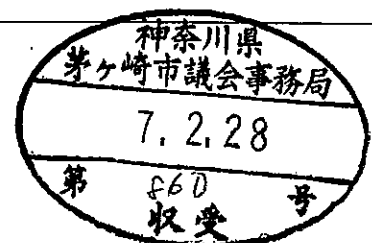
④ 待ったなし!地方ができる効果的なこども子育て施策

京都JAビル

(京都府京都市南区東九条西山王町1)

政務活動の結果

別紙のとおり



研修受講報告書

市民の声ちがさき

清野 匡志

- ・研修（セミナー）名称：あなたの街のデータで確認する 人口減少と国の施策
- ・開催日時：2025 年 1 月 27 日 10:00～12:30
- ・場所：京都 JA ビル
- ・研修（セミナー）内容：

講師：地方議員研究会 黒瀬雄大氏

●あなたのまちの人口データ

- 国調人口と住基人口
- 自然増減と社会増減
- 将来推計人口
- RESAS

●これから人口減少すると何が困るのか

- 公共サービスの縮小
- 地域経済の衰退
- 地域コミュニティの衰退
- インフラの維持困難
- 教育機関の問題
- 住宅や土地の空き家・空き地問題

●まち・ひと・しごと創生総合戦略とはなんだったのか

- 国が用意している施策の概観
- 地方版総合戦略の見方
- 総合戦略と総合計画の関係
- 人口ビジョン、人口予測の影響
- 施策の KPI（重要業績評価指標）

●デジタル田園都市国家構想

- 交付金と推移

・所感等

令和 5 年茅ヶ崎市では人口増減のうち自然増減が-1173 人、社会増減が+2564 人となっているが令和 6 年では人口減少が始まっている。

甘い人口予測は総合計画以外の計画の崩壊につながる。KPI を数字で確認できるものに設定して PDCA を回していくことが重要である。

人口減少社会では施策の検証見直しをスピード感を持って行かなければと考えさせられた。

以上

研修受講報告書

市民の声がさき

山口 順平

- ・研修（セミナー）名称：これから地方にできる人口減少対策
- ・開催日時：2025 年 1 月 27 日 14:00～16:30
- ・場所：京都 JA ビル
- ・研修（セミナー）内容：

講師：地方議員研究会 黒瀬雄大氏

●地域が消滅？未来予測の意味

-今から備える人口減少の施策（行政の広域化、街のコンパクト化、行政 DX 化、公共を担う主体の拡大）

●地方自治体の DX が進まない理由

-自治体の DX 施策課題一覧

-デジタル人材の確保・育成の課題と進め方（業務委託・人材登用・知識の蓄積・人材育成）

-業務がどう変わるのかを問う（2022 年策定した計画の進捗を質問、標準システムに移行する際の費用について質問）

●財政措置に振り回されず賢く使え

-地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業（地方公会計の整備活用・公共施設等総合管理計画の見直し・実行）

・所感等

茅ヶ崎市では人口 242,800 人（2024/6 月）から 2045 年には 227,190 人となり 93%台まで減少することが見込まれる。人口減少社会の姿は各自治体により全く状況が異なるが、茅ヶ崎市も人口減少に今から備える施策を打っていくことが必要であることは間違いない。

その中で研修で伺った人口減少施策①行政の広域化②街のコンパクト化③行政の DX 化④公共を担う主体の拡大という 4 点で茅ヶ崎市の現状と照らし合わせながら理解を深めることができた。行政の広域化は特に消防については寒川町との対応を広めていることや、上下水道については神奈川県として一体で取り組んでいる。ごみ処理、給食については広域化の難易度が高く、茅ヶ崎市においても苦勞している理由の理解が深まった。

行政 DX については標準化システム導入を進めているが茅ヶ崎だけでなく他自治体でも苦勞している状況が理解できた。国の特別交付税措置の活用などを注視していきたい。

個人的には公共を担う主体の拡大として市民自らが参画することで公共をみんなで支える仕組みが暮らしの豊かさ・充実度につながるのではないかと思います、今後もこの分野の知見を深めていきたいと感じた。

研修受講報告書

市民の声ちがさき

花田 慎

- ・研修（セミナー）名称：国のこども子育て施策をおさえよう
- ・開催日時：2025 年 1 月 28 日 10:00～12:30
- ・場所：京都 JA ビル
- ・研修（セミナー）内容：

講師：地方議員研究会 黒瀬雄大氏

●これまでの国の子育て施策

- 戦後の日本の子育て施策の変遷（戦後、1970 年代～1980 年代、1990 年代～2000 年代、2010 年代～現在）

●こども子育て支援新制度

- 2015 年 4 月に導入された子育て支援制度（認定こども園、子育て支援拠点、待機児童解消などが柱）

●幼稚園 VS 保育所

- 全国学力調査により、幼稚園に通っていた子どもは保育所に通っていた子どもより小学校、中学校ともに学力が高いことがわかった

●非認知能力とは

- 学力や IQ などの認知的スキル以外の、感情コントロール、協調性、忍耐力、自己管理など、社会生活や成功に重要なスキル

●「幼児教育の質」の測り方

- 代表的な評価基準（ECERS：幼児教育環境評価スケール）

●市立 VS 私立保育所、幼稚園

- 財政負担で考えると民営化一択（障がい児、医療的ケア児において私立対応困難）

●こども家庭庁

- 2023 年 4 月に発足（縦割り行政、少子化問題、こどもの貧困問題、児童虐待）

●こども政策を一元化した自治体

- 大阪府箕面市（教育委員会に一元化）
- 兵庫県明石市（首長部局に一元化）

●少子化の現状

- 女性の数自体が減少しており、少子化は止められない
- 晩婚化、未婚化、出生力の低下

●こどもの貧困問題

- 相対的貧困率は増加傾向（ひとり親世帯の半数が可処分所得中央値半分以下の貧困状態）

●児童虐待

- 児童相談所での虐待相談件数は増加（過去見過ごされてきた虐待が表面化？）
- 虐待相談件数は増えているが、児童虐待による死亡事例は増えていない（早期発見）

●ヤングケアラー問題

- 市でできること（実態調査、気づく体制を整える、ヤングケアラーコーディネータを配置する）⇒補助金を活用する

●こども未来戦略とは

- 全 2023 年 12 月にこども未来戦略が閣議決定
- 基本理念

- 1.若い世代の所得を増やす
- 2.社会全体の構造・意識を変える
- 3.全てのこども・子育て世代を切れ目なく支援する

●こども誰でも通園制度

- 親が働いていなくても未就学の子どもを保育園に預けることができる制度（保育士の負担、保育園の負担、保育士不足の問題がある）

・所感等

国のこども子育て施策との整合性を図ることにより、必要な施策に対し国の補助金を活用できると感じた。

今後の茅ヶ崎市の子育て施策においても事業内容以外に、国の施策として使えるメニューがあるかどうかをしっかりと確認し、子育て施策の充実を図るとともに財政負担の軽減についてもチェックしていく必要がある。

議員としての視野が広がり有意義な研修であった。

以上

- ・研修（セミナー）名称：待ったなし！地方ができる効果的なこども子育て施策
- ・開催日時：2025年1月28日 14:00-16:30
- ・場所：京都 JA ビル
- ・研修（セミナー）内容：

講師：地方議員研修会 黒瀬雄大氏

●こども・子育て支援の財政措置を知ろう

- 子育て支援はこども未来戦略でわかる（こども・子育て施策に係る地方単独事業（ソフト）の推進等、こども・子育て支援事業債の創設）
- その他にも使える財政措置（緊急防災・減災事業、長寿命化事業＋ユニバーサルデザイン化事業）

●多くの役所で、こども子育て施策がチグハグになる理由

- 教育委員会と市長部局の壁
- 縦割り行政
- こども政策を一元化した自治体（大阪府箕面市、兵庫県明石市）

●実態把握できてる？こども子育て施策の進め方

○例：ヤングケアラー

- 市でできること
- 一般質問の例

●自治体でのこども子育て支援策の展開

- 地域少子化対策重点推進交付金（長野県駒ヶ根市、徳島県）赤ちゃんふれあい事業、こども園によるおむつ回収
- 保育環境改善等事業（いじめへの市長部局の介入、送迎ステーション、こども医療費の無償化、こども医療費の無償化、給食費の無償化、習い事・塾代助成）

・所感等

講師は公務員、議員経験があり、議員として何を読み解き、理解していくことが大切なのかを繰り返し説

明され、とても参考になった。数字についても、全体像ではなく自治体数（1,741）を念頭に置くことで、より具体的に落とし込むことや、事業についても解釈の気転をきかせるだけで交付金の使い道が広がり、結果、市税を使わずして事業を推進できることを改めて理解できた。

これから提示される施政方針の主な事業や令和7年度予算について、方向性や取り組みについて（特にこども政策について）注視していきたい。

家庭庁が発足したことで、こども子育て施策は、出会い、結婚マッチングから、結婚、妊活、出産、子どもから若者まで（切れ目なく）を対象にしているが、現実には行政の縦割りによって相互間の情報共有問題も抱えている。茅ヶ崎市も例外ではなく、保護者と市との連絡や申請の二度手間、各課との情報伝達・共有（市長部局、教育委員会と、問い合わせが1つの部署で完結できない。さらに各担当で説明が異なるなど）について保護者からの問い合わせが多いのも事実である。それぞれ蓄積された記録や情報を複数で管理するのではなく一元管理し、切れ目ない施策の展開ができることで、働き方改革にも繋がり、正に DX である。

既に行政部局の一元化を実現している自治体例もあり、茅ヶ崎でも取り入れられるよう参考にしていきたい。

講義中、生きたデータや情報の活用方法の具体的に説明を受け、今後の質問のあり方について学べた研修であった。

以上

2025 1.22(水) in 東京 / 1.27(月) in 京都

あなたの街のデータで確認する
人口減少と国の施策

10:00 - 12:30

- ・あなたの街の人口減少の実態をデータで知る
- ・これから人口減少すると何が困るのか
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略とは何だったのか
- ・デジタル田園都市国家構想とは

これから地方にできる人口減少対策

14:00 - 16:30

- ・地域が消滅? 未来予測の意味
- ・地方自治体のDXが進まない理由
- ・財政措置に振り回されず賢く使え
- ・行政計画で議員がチェックすべきポイント

2025 1.23(木) in 東京 / 1.28(火) in 京都

国のこども子育て施策をおさえよう

10:00 - 12:30

- ・これまでの国の子育て施策
- ・こども家庭庁ができた背景と役割
- ・ここから始まる! こども未来戦略の要点
- ・令和10年までが勝負! こども・子育て支援加速化プラン

待ったなし!

地方ができる効果的なこども子育て施策

14:00 - 16:30

- ・こども・子育て支援の財政措置を知ろう
- ・多くの役所でこども子育て施策がチグハグになる理由
- ・実態把握できている? こども子育て施策の進め方
- ・自治体でのこども子育て支援策の展開

講師

元 交野市議会議員
元 交野市財政課職員

黒瀬 雄大

くろせ ゆうだい

【経歴】

大阪府交野市役所(税務室 財務課 こども園課) 交野市議会議員(1期)
民間企業勤務(ITコンサルタント・データサイエンティスト)
九州大学経済学部卒(経済学士)
大阪市立大学大学院創造都市研究科(都市政策修士)
大阪大学大学院国際公共政策研究科単位取得退学
自治体の効率性について研究
得意領域は自治体財政、データの可視化

人口減少
少子化
に備える
地方の
施策



お申込みは FAX または メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

 メール申込み方法

mail@chihogiken.or.jp

 FAX申込み書

申込書に記名の上、FAXで050-6868-9679宛にお送りください。
参加される講座のチェックボックスへ ☒ してください。

1/22*
in 東京

- ☐ あなたの街のデータで確認する
人口減少と国の施策
10:00~12:30
- ☐ これから地方にできる人口減少対策
14:00~16:30

1/27*
in 京都

- ☐ あなたの街のデータで確認する
人口減少と国の施策
10:00~12:30
- ☐ これから地方にできる人口減少対策
14:00~16:30

1/23*
in 東京

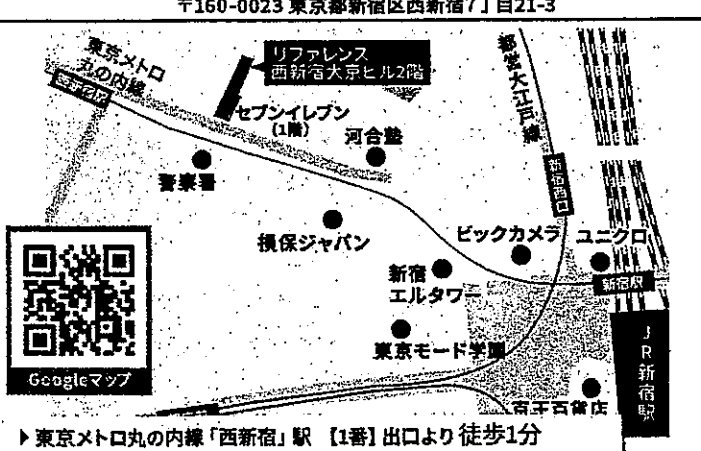
- ☐ 国のこども子育て施策をおさえよう
10:00~12:30
- ☐ 待ったなし!
地方ができる効果的なこども子育て施策
14:00~16:30

1/28*
in 京都

- ☐ 国のこども子育て施策をおさえよう
10:00~12:30
- ☐ 待ったなし!
地方ができる効果的なこども子育て施策
14:00~16:30

お名前 (フリガナ) _____		貴協会名 _____ (期目)	
電話番号 () -		FAX番号 () -	
E-mail _____ @ _____			
領収書宛名 ご本人様名 ・ その他 ()			
会場の参加をせず、 資料等を郵送でのご希望の方は チェックしてください		☐ 当日不参加(資料、USB動画データ、領収書 郵送希望) 動画データの無断転載等はないことに同意して申込みます ※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもご入場をお断りさせていただきます。 必ず欠席される方のみチェックしてください。	
郵送先の住所 郵便番号 ()		郵便番号 ()	

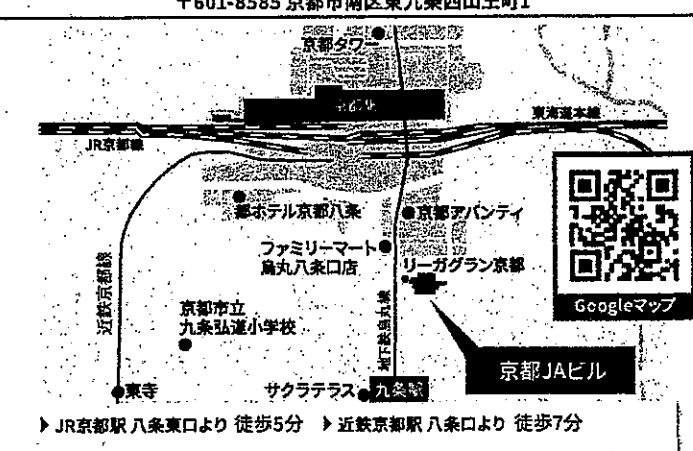
開催場所 in 東京
リファレンス西新宿大京ビル 2階
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目21-3



Googleマップ

▶ 東京メトロ丸の内線「西新宿」駅【1番】出口より徒歩1分
▶ 都営大江戸線「新宿西口」駅【D4番】出口より徒歩8分

開催場所 in 京都
京都JAビル
〒601-8585 京都市南区東九条西山王町1



Googleマップ

▶ JR京都駅 八条東口より徒歩5分 ▶ 近鉄京都駅 八条口より徒歩7分
▶ 市営地下鉄(丸太線) 京都駅 八条口より徒歩5分 九条駅 出入口より徒歩4分

受講料

1講座 15,000円(税込)
※チェックボックス1つにつき15,000円となります。
受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。
※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問い合わせ 事務局

地方議員研究会
☎ 050-6868-9678
☎ 050-6868-9679
✉ mail@chihogiken.or.jp
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル2階5-6号室

出張旅費計算書

適用	地方議員研究会主催 研修会 京都府京都市南区東九条 西山王町1 京都JAビル			会 派	市民の声ちがさき		
期 間	令和7年1月27日 令和7年1月28日 2日			出張者 氏 名	花田 慎、藤村 優佳理、清野 匡志、 山口 順平		
経 路		日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎 — 小田原 JR東海道本線		1	1	455.0	7,480	4,950	12,430
小田原 — 京都 JR新幹線ひかり						—	
京都 — 小田原 JR新幹線ひかり		1	1	455.0	7,480	4,950	12,430
小田原 — 茅ヶ崎 JR東海道本線						—	
計		2	1	910.0	14,960	9,900	24,860
	日 数			単 価(円)		金 額(円)	
日・当	2			2,400		4,800	
研修参加費	2			30,000		60,000	
宿泊費(食事無) ※宿泊税200円込	1			10,700		10,700	
朝食代	1			1,000		1,000	
夕食代	1			2,000		2,000	
合 計	¥103,360 × 4 人					¥413,440	

※宿泊先
グリーンリッチホテル京都駅南
夕食朝食なし 1人1泊10,500円
(宿泊税200円を加算すると、1人1泊10,700円)

No. 9148600

請求明細書

B I L L

株式会社 GRH関西京都

登録番号 T5290001064762

グリーンリッチホテル京都駅南

〒601-8047 京都府京都市南区東九条下殿田町3番

TEL:075-691-2500 FAX:075-691-2501

客室番号 ROOM No.	219	泊数 NTS	1	到着日 ARR DATE	25/01/27	出発日 DP DATE	25/01/28
お名前 NAME	茅ヶ崎市議会 市民の声がさき						様

日付 DATE	客室番号 ROOM No.	説明 EXPLANATION	数量 QTY	金額 CHARGES
25/01/27	217	宿泊代	1	10,500
		宿泊税		200
	218	宿泊代	1	10,500
		宿泊税		200
	219	宿泊代	1	10,500
		宿泊税		200
	224	宿泊代	1	10,500
		宿泊税		200
	219	現金 (自動釣銭機)		(42,800)
		—御利用額—		42,800
		—現金支払額—		(42,800)
		[消費税内訳] 内税10%対象 (42,000円)		(3,816)
				税率10%

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。

ご署名

No. 9148600

領 収 証

R E C E I P T

株式会社 GRH関西京都

登録番号 T5290001064762

発行日付 2025年1月28日

お名前 NAME	茅ヶ崎市議会 市民の声がさき	様
領収金額	¥42,800	
	内消費税等 ¥3,816 (税率10%)	

収 入

印 紙

但 宿泊料金として

上記正に領収いたしました

グリーンリッチホテル京都駅南

〒601-8047 京都府京都市南区東九条下殿田町3番

TEL:075-691-2500 FAX:075-691-2501



領 収 証

2025 年 1 月 27 日

市民の声ちがさき

様

★

¥240,000

但 1/27.28 人口減少少子化に備える地方の施策

4名様 研修会受講代として

上 記 正 に 領 収 いたしました



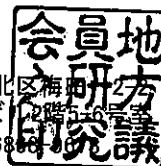
地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田2-2-1

大阪駅前第2ビル2階5-16号室

TEL 050-6866-1000



政務活動報告書

令和7年3月3日

茅ヶ崎市議会議長

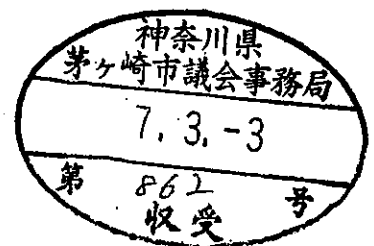
岸 正明 様

(会派名) 市民の声ちがさき

(氏 名) 山口 順平

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和7年2月7日(金)、8日(土)
目 的 地 (研 修 地)	ローカル・マニフェスト推進連盟湘南勉強会in茅ヶ崎 茅ヶ崎市民文化会館4階大会議室 (茅ヶ崎市茅ヶ崎1-11-1)
政務活動の結果 別紙のとおり	



研修受講報告書

市民の声ちがさき

山口 順平

・研修（セミナー）名称：

湘南勉強会 in 茅ヶ崎「海、環境、そしてデジタル行政：地方自治の新たな可能性と市民力

・開催日時：2025年2月7日 10:00～13:00、14:00～17:00

・場所：茅ヶ崎市民文化会館

・研修（セミナー）内容：

① 議会改革の到達点と展望 大正大学地域創生学部公共政策学科 江藤俊昭

＜地方自治の原理に由来＞

二元制→首長と議会の政策競争・議会の意思を示すための議員間討議、直接民主制の導入→議会にも行政にも多様な住民参加)

＜住民自治の根幹」としての議会＞

地域経営にとって重要な権限は議会（自治法 96）→「住民自治の根幹」だから→多様性、論点の明確化・合意可能性、世論形成といった役割（合議制）を担うから

議員間討議の重要性

対話：議論する、関係構築する、意思決定はしない→気づき重視

熟議：じっくり考える、選択を行うために考える→政策形成・監視で有効

ディベート：論争する、勝ち負けをつける

事例発表

② 書かない窓口の運用

③ 茅ヶ崎海岸侵食対策事業～環境に配慮した養浜事業について～

④ ちがさきこども選挙

⑤ まちのBAR～もしも市議がBARのマスターになったら？～

・所感等

江藤教授の講演により、本来の地方自治のあり方、住民自治の根幹としての議会としてやるべきことについて理解を深めることができた。地方政治における討議の層を厚くするために、住民－議会・首長、議会－首長、議会内における議員間討議などで対話・熟議・ディベートを使い分けることで三者間関係を充実させることの必要性を感じた。

そのうえで事例発表としてまちのBARについて考えると、住民との意見交換を対話に行っているといえる。展開される議論が最初から決まっているわけではなく、対等に議論をして、合意形成に至らなくても論点の明確化につながる話し合いができることの意義を感じた。



ローカル・マニフェスト推進連盟 茅ヶ崎 湘南勉強会 in 茅ヶ崎

海、環境、そしてデジタル行政 地方自治の新たな可能性と市民力

現地視察やマニフェスト大賞優秀事例発表など、豊富なプログラムをご用意しています。
今年マニフェスト大賞審査委員会特別賞（シティズンシップ部門）を受賞した「まちのBAR」の体験ツアー（要別途お申し込み）もございます。茅ヶ崎の地での先進事例の学び合いにぜひご参加ください。

1日目 (12:45-17:00)

12:45 集合 加山雄三像前（茅ヶ崎市役所）
13:00-13:15 説明会
13:25-13:40 現地視察 神奈川県第1号「自治体窓口DXaaS」「書かない窓口」の運用 茅ヶ崎市役所 本庁舎1階フロア
14:00 研修会開始
14:10-14:40 開会挨拶 川上 文浩
14:40-14:50 地方議会から地域を変える 茅ヶ崎から日本を変える 北川 正彰
事例発表 (1) 14:40-15:20 「茅ヶ崎市の自治体DXの取り組みについて」～書かない窓口・電子契約書～

事例発表 (2) 15:20-16:00 「茅ヶ崎海岸食対策事業」～環境に配慮した養殖事業について～
事例発表 (3) 16:10-16:30 「ちかききこも選挙」～こどものこどもによる、こどものための選挙～
事例発表 (4) 16:30-16:50 「まちのBAR」～もしも市議がBARのマスターになったら～

先着 20 名様 1 時間終了後 まちのBAR 体験ツアー
2月7日 (金) 18:00-19:30 (自由参加費 2,200円 (税込) ※ワンドリンク・ワンプレート付 会場: 茅ヶ崎カフェ (茅ヶ崎市役所本庁舎隣)

2日目 (09:00-12:00)

特別講演 09:00-09:40 元デジタル大臣 河野 太郎
自治体DXの展望について (仮)
事例発表 (5) 09:40-09:55 「藤沢市政政策検討会議」～光憲の議員間討議を実現！～ 藤沢市議会議員 有賀 正義
事例発表 (6) 09:55-10:10 広報改革のその先へ～議会発議の政策決定・多様な議員利用で議会の扉を開く～ 開成町議会 見沼 賢司
事例発表 (7) 10:10-10:25 「小さな町の大きな再編プロジェクト」～真鶴町が挑む公共施設の最適化～ 西尾町長 小林 伸行
事例発表 (8) 10:35-10:50 「よこはま市民ローカルマニフェスト」～市民と共創した「こども未来」の制定～ 横須賀市議会 黒川 勝
パネルディスカッション 10:50-12:00 「神奈川発！相模湾の海岸美化活動」～日本で唯一、県内全域の自然海岸美化専門体制を確立～ 例 (仮) かながわ県民局 松浦 治美

●閉場後、現地説明を受けるためサザン通りを経て、茅ヶ崎海岸へ徒歩移動します。(25分程度)
●その後、シーサイドランチを経て、茅ヶ崎海岸で解散予定

日時 2025年2月7日 (金) 12:45～17:00
8日 (土) 09:00～12:00

会場 集合場所 加山雄三像前（茅ヶ崎市役所）
研修会場 茅ヶ崎市民文化会館 4階大会議室

参加費 随員 ¥6,000 (税込)
自治体職員・市民 ¥3,000 (税込)
学生無料 いずれも2日間合計の金額です

定員 先着 80 名様 会場のみ。オンライン配信ございません

申込 2025年2月6日 (木) 正午の申込期日までに
ウェブサイト (右下QR) より <https://2025020708.peatix.com/>
随会事務で取りまとめている場合、随会費払いが可能です。別途お問い合わせください。

注意事項
●事前お申し込みと決済が必要です。当日のお支払いはできません。
●領収書はデータを Peatix から各自ダウンロードをお願いします。
●チケットのキャンセル返金手続きについてはウェブサイトの記載をご確認ください。直前のキャンセルはご遠慮ください。
●まちのBAR 体験に参加する場合は別途お申し込みが必要です。ウェブサイトの記載をご確認ください。

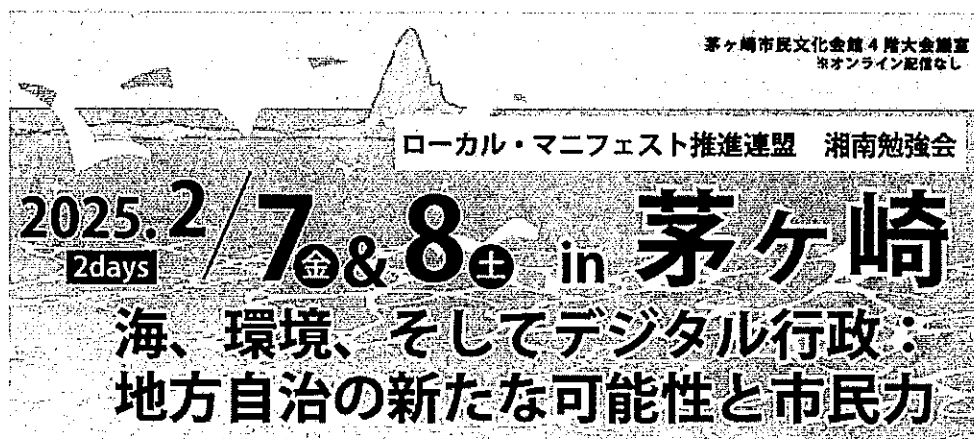
問合せ ローカル・マニフェスト推進連盟事務局
早稲田大学マニフェスト研究所内
電話: 03-6709-6739
メール: man@maniken.jp



[TOP > お知らせ](#)

2025年02月07日（金）・08日（土）【2Days・現地のみ】湘南勉強会in茅ヶ崎「海、環境、そしてデジタル行政：
地方自治の新たな可能性と市民力」開催します

公開日 2024年12月20日

**プログラム一部変更に関するお知らせ(2025.02.03.16:30更新)**

第1日目の2月7日（金）に予定していた基調講演「地方議会から地域を変え、茅ヶ崎から日本を変える」は、北川正恭弊所顧問の体調不良によりまして、内容を変更させていただきます。

当日は、マニフェスト大賞審査委員も務めております江藤 俊昭 大正大学地域創生学部教授による、議会改革の現状等に関する講演に変更となります。

楽しみにして下さっていた皆様には、突然の内容変更となり誠に申し訳ございません。

何卒よろしくお願い致します

チラシをダウンロード：[こちら](#)

2025年02月07日（金）・08日（土）【2Days・現地のみ】湘南勉強会in茅ヶ崎「海、環境、そしてデジタル行政：
地方自治の新たな可能性と市民力」開催します。

現地視察やマニフェスト大賞優秀賞事例発表など、豊富なプログラムをご用意しています。

今年マニフェスト大賞審査委員会特別賞（シティズンシップ部門）を受賞した「まちのBAR」の体験ツアー（要別途お申し込み）もございます。

茅ヶ崎の地での先進事例の学び合いにぜひご参加ください。

研修会へのお申し込みはこちら

※議会事務局様で取りまとめたお申し込みにかぎり請求書によるお支払いができます。議会事務局様を通じて別途ご連絡ください。

日時：2025年2月7日（金）12時45分-17時～8日（土）9時-12時

集合場所：加山雄三像前（茅ヶ崎市役所前）【アクセス】

研修会場：茅ヶ崎市民文化会館4階大会議室【アクセス】（※オンライン配信はありません）

参加費（税込）：議員6,000円 / 自治体職員・市民3,000円 / 学生無料
※2日間合計の金額です。

定員：会場参加のみ（先着80名様）

申込期日：2025年2月6日（木）正午まで

注意事項：

※事前お申し込みと決済が必要です。当日のお支払いはできません。

※領収書はデータをPeatixから各自ダウンロードをお願いします。【詳しくはこちら】

※チケットのキャンセル返金手続きについてはこちらをご確認ください。直前のキャンセルはご遠慮ください。
【詳しくはこちら】

※まちのBAR体験ツアーに参加する場合は別途お申し込みが必要です。
まちのBAR体験ツアーのご案内はこちらをご確認ください。

研修会へのお申し込みはこちら

※議会事務局様で取りまとめたお申し込みにかぎり請求書によるお支払いができます。議会事務局様を通じて別途ご連絡ください。

<プログラム> ※現在の予定です。予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

2月7日（金）12:45-17:00

【集合】12:45 加山雄三像前（地図）

【議場見学】13:00-13:15

茅ヶ崎市議会議場（茅ヶ崎市役所本庁舎6階）

【現地視察】13:25-13:40

神奈川県内第1号！自治体窓口DXaaS「書かない窓口」の運用
茅ヶ崎市役所本庁舎1階フロア

【会場移動】⇒茅ヶ崎市民文化会館4階大会議室

【開会】14:00

【開会挨拶】14:05-14:10

ローカル・マニフェスト推進連盟共同代表
川上 文浩 可児市議会議員

【基調講演】14:10-14:40

江藤 俊昭 大正大学地域創生学部教授

「地方議会から地域を変え、茅ヶ崎から日本を変える」

北川 正恭 早稲田大学名誉教授、早稲田大学マニフェスト研究所顧問

【事例発表1】14:40-15:20

「茅ヶ崎市の自治体DXの取り組みについて」～書かない窓口・電子契約書～
※発表者調整中

【事例発表2】15:20-16:00

「茅ヶ崎海岸侵食対策事業」～環境に配慮した養浜事業について～
※発表者調整中

【休憩】16:00-16:10

【事例発表3】16:10-16:30

「ちがさきこども選挙」～こどもの、こどもによる、こどものための選挙。～
池田 一彦氏

【事例発表4】16:30-16:50

「まちのBAR」～もしも市議が、BARのマスターになったら？～
藤池 香澄氏

【講評】16:50-16:55

北川 正恭 早稲田大学名誉教授、早稲田大学マニフェスト研究所顧問

【閉会挨拶】16:55-17:00

▽1日目終了後、臨時出店される「まちのBAR」[Webサイト]への体験ツアーを開催します。

【体験ツアー】参加費（税込）2,200円（ワンドリンク+ワンプレート）

会場：茅ヶ崎カフェ（茅ヶ崎市役所本庁舎隣）

※会場規模の関係から先着順20名で締切ります。

※事前お申し込みと決済が必要です。こちらからお申し込みください。

▽宿泊施設（推奨）

会場周辺には、東横イングループの2つのホテルがありますので、各自でお申し込みください。

（1）東横INN茅ヶ崎市役所（〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-14 TEL 0467-83-1045）

出張旅費計算書

適 用	ローカル・マニフェスト推進 連盟 湘南勉強会in茅ヶ崎 ～海、環境、そしてデジタル 行政 地方自治の新たな可 能性と市民力～ 茅ヶ崎市茅ヶ崎1-11-1	会 派	市民の声ちがさき	
期 間	令和7年2月7日 令和7年2月8日 2日	出張者 氏 名	山口 順平	
	日 数	単 価(円)	金 額(円)	
研修参加費	1	6,000	6,000	
合 計	¥6,000 × 1 人		¥6,000	

領収データ - 2025年02月07日（金）・08日（土）湘南勉強会in茅ヶ崎「海、環境、そしてデジタル行政：地方自治の新たな可能性と市民力」

発行日	2025年1月17日
宛名	市民の声がさき ヤマグチ ジュンパイ
合計	¥6,000
但し	チケット代金
注文日	2025年1月17日
注文番号	28826405
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	2025年02月07日（金）・08日（土）湘南勉強会in茅ヶ崎「海、環境、そしてデジタル行政：地方自治の新たな可能性と市民力」

